

NEWS

平成28年度 中部地域協議会 第1回全体会議開催

7月20日(水)午後3時よりグランディエール
ブケトーカイ(静岡市葵区)において、平成28年度中
部地域協議会第1回全体会議が開催されました。

会議には(公社)全国産業廃棄物連合会会長 石
井邦夫氏及び専務理事 森谷 賢氏や中部四県(岐阜
県・静岡県・愛知県・三重県)の産業廃棄物協会会
長、副会長、理事長、副理事長、理事等28名が出
席しました。

はじめに、開催県協会の(公社)静岡県産業廃棄
物協会会長 鈴木洋佑氏が開会挨拶をし、続いて中
部地域協議会会長 永井良一氏から会長挨拶があり、
次に(公社)全国産業廃棄物連合会専務理事 森谷
賢氏の来賓挨拶がありました。

鈴木会長からは「世界遺産である富士山の裾野の
不法投棄撤去作業、市町の災害廃棄物処理計画策
定作業へのオブザーバ参加、廃棄食品不法転売事
案に対する再発防止の取組などを静岡県協会として
の重点事業の展開などについて説明され、本日の会
議が有意義な会議となることを願っている。」と挨拶
がありました。



永井会長からは「食品廃棄物の不適正処理事案を
受け適正処理推進活動支援金交付制度の創設など、
「全産連」や支部と連携し再発に向けた取組を重点

施策として進めていること、また、関係機関と連携
した災害廃棄物処理体制の整備が急務であり業界の
更なる発展に繋げるためにも実りある会議となるも
のなることを期待する。」と話されました。

森谷専務理事からは「人材育成事業の全国展開や
労働災害防止対策など今後3年かけて進める事業を
都道府県協会と準備したいので協力をお願いします。」
と挨拶がありました。

会議では永井会長を議長に選出し、配布資料をも
とに議案・審議が行われました。

- (1) 平成27年度中部地域協議会事業報告書につ
いて
- (2) 平成27年度中部地域協議会活動支援交付金
収支決算報告及び監査報告について
- (3) (公社)全国産業廃棄物連合会の役員等について
- (4) 各県協会の役員等について

以上、議案は全て原案通り承認されました。
引き続き、(公社)全国産業廃棄物連合会と各県協
会との意見交換が行われ、全産連森谷専務理事から、
廃棄物処理法の見直しについて、食品廃棄物不適正
処理事案について、産業廃棄物処理業における人材
育成方策検討調査、低炭素社会実行計画2030年
度の目標等の検討、水銀対策、大規模災害発生時
における災害廃棄物対策、再生砕石分科会の発足、
労働災害防止計画の策定について、連合会の法人名
称について、また、産業廃棄物処理法等見直し意見
について配布資料に基づいて説明がありました。

各県協会からの出席者から名称変更の時期につ
いて、人材育成事業について、産業廃棄物業の振興に
ついてなど活発な意見交換があり、盛会の内に会議
は終了し、最後に、途中から出席されました(公社)
全国産業廃棄物連合会会長 石井邦夫氏からご挨拶
をいただき、閉会しました。

<出席者>

(公社)全国産業廃棄物連合会 会 長 石井 邦夫
専務理事 森谷 賢

中部地域協議会会長兼

(一社)愛知県産業廃棄物協会 会 長 永井 良一
副 会 長 小島 晃
副 会 長 平沼 辰雄
専務理事 渡邊 修
常務理事 石山 進
常務理事 梅村 正裕
事務局長 小坂 元信

中部地域協議会副会長兼

(一社)三重県産業廃棄物協会 会 長 木村 亮一
副 会 長 井上 吉一
副 会 長 宮崎 正次
専務理事 筒井 照雄

(一社)岐阜県産業環境保全協会 理 事 長 粥川 長司
副理事長 鈴木 兼利
副理事長 丹羽 武
専務理事 伊藤 誠紀

(公社)静岡県産業廃棄物協会

会 長 鈴木 洋佑
副 会 長 岩間 雄一
副 会 長 渡辺 和良
副 会 長 新井 康久
専務理事 秋田 勝
理 事 関 則雄
理 事 森 勝久
理 事 梅原 義隆
理 事 海野 智也
理 事 松田 信夫
理 事 海野ひろみ

▲「低埋土」が「不燃物」を埋め立てる事業が「不燃物」を埋め立てる事業 ▲